

先週のマーケット動向(5月8日～5月12日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,320.0	1,337.6	1,316.2	1,334.5	+11.7
JPY/KRW	9.7756	9.9345	9.7756	9.9050	+0.059
KOSPI	2,518.53	2,525.84	2,472.45	2,475.42	▲25.52

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。8日のドル/ウォン相場は1,320.0ウォンでオープン。輸入企業の決済需要とみられるフローから堅調推移するも、外国人投資家による株式市場への投資フローが午前の上昇分を打ち消した。9日・10日は材料不足から小幅なレンジで推移。米債務上限問題の動向や米CPIを控え取引は手控えられた。11日は米CPIの結果を受け、米利上げサイクルの停止が意識されたことでドル売りが勢いづき一時週安値の1,316.2まで下落。しかし、その後発表された中国CPIが弱い内容だったことで、人民元安となり、ウォンも下落した。12日は海外時間に米中小銀行の預金が大幅減少したとの発表からリスク回避ムードが広がり、ウォン安が進行。週高値の1,337.6までドル/ウォンは上昇した後、前週末対比+11.7ウォン上昇した1,334.5ウォンにてクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。先週末のNDFレートを勘案すると、週初のドル/ウォンは1,340ウォン台前半でオープンしよう。ドル/ウォン相場は先月当局による介入の動きが見られた水準まで上昇しており、今週も介入に対する警戒感が重しとなろう。その他、米地銀に関連する経営リスクや米債務上限問題に対する懸念は引き続き相場材料に。高値圏では実需によるウォン買い需要が期待されるものの、実需は芳しくないことから一服後は一段とドル/ウォンが上昇する可能性も。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1325 ~ 1355	9.70 ~ 10.00	134.0 ~ 137.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 15日(月) 米 5月 NY連銀製造業指数
- 16日(火) 欧 1Q GDP 改定値
 - 米 4月 鉱工業生産
 - 米 4月 小売売上高
 - 中 4月 小売売上高
 - 中 4月 鉱工業生産
- 17日(水) 日 3月 鉱工業指数 確報値
 - 米 4月 住宅着工件数
 - 欧 4月 CPI 確報値
 - 日 1Q GDP 速報値
- 18日(木) 米 5月 失業保険新規申請者数
 - 米 4月 中古住宅販売件数
 - 日 4月 貿易統計
- 19日(金) 日 4月 CPI